

平成 27 年 6 月

一般社団法人 全国青色申告会総連合 青年部
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-9
TEL : 03-3294-2301 FAX : 03-3233-0154
e-mail : kyv01610@nifty.com
http://www.bluereturna.jp/seinenbu/

TEN-UP NEWS

No.82

TEN-UP ACTION 2014 調査票 まとめ

平成 26 年分の確定申告期終了後、TEN-UP ACTION 2014 の活動状況を調査した。全国 31 の都道府県、140 会の青年部から回答が寄せられた。主な活動状況は次のとおり。

会員部員増強運動と青年部活動の充実強化 青年部の規模①

年度	部数 (部)	部員数 (人)	平均① (人)	平均② (人)
2014	140	3,161	22.6	19.0
2013 (参考)	128	3,135	24.5	20.4

平均①：単純平均

平均②：部員数の上位と下位 1 割ずつ (28 部) を除いた単純平均

部員数の単純平均は 22.6 人で、部員数の上位と下位 1 割ずつ (28 部) を除く 112 部の平均は 19.0 人だった。

青年部の規模②

部員数 (人)	部数 (H27年度)	[参考]部数 (H26年度)
～10	38	23
11～20	46	45
21～40	41	44
41～	15	16
小計	140	128
休部中	28※	10
合計	168※	138

※都道府県連合会を対象に実施した部員数届より集計

40 人以下の部員数で活動している青年部が全体の 9 割を占めている。部の規模に関わらず部員数の減少が続いており、部員数が 10 名を下回る会が増加している。また、部員数 11 名で新規に青年部活動を開始した会があった一方で、7 部が青年部活動を休止

し、休部中の青年部が 28 部になった。

会員部員増強運動 (青年部の規模別)

増強結果	青年部の規模 (単位:部)			
	～10	11～20	21～40	41～
部員減少	11	14	14	5
現状維持	21	25	17	5
部員増加	6	7	10	5
計	38	46	41	15

全国的に部員数の減少が続くなかで、部の規模 (部員数) に関わらず、部員が増加している会がある。

2014 年度、全青色青年部では各会の青年部活動を紹介してきた。2014 年度に全青色青年部の会合等で取り上げた活動について、会員部員増強運動の増強結果別の集計は次のとおり。

【リーフレットサンプルの使用について】

2014 年度の使用状況と増強結果の関係
(○=使用した、×=使用していない)

増強結果	○	×	未回答	計
部員減少	2	38	4	44
現状維持	2	55	11	68
部員増加	4	23	1	28
計	8	116	16	140

2015 年度の使用予定と増強結果の関係
(○=使用予定、×=使用の予定はない)

増強結果	○	×	未回答	計
部員減少	6	34	4	44
現状維持	12	46	10	68
部員増加	3	23	2	28
計	21	103	16	140

(主な意見等)

- 新たに作成すると大変なので助かった
- 広報誌の原稿として流用している
- ×独自に作成したリーフレット等がある

【新規入会者懇談・懇親会の開催について】

2014 年度の開催状況と増強結果の関係
(○=開催した、×=開催していない)

増強結果	○	×	未回答	計
部員減少	2	37	5	44
現状維持	3	55	10	68
部員増加	5	22	1	28
計	10	114	16	140

2015 年度の開催予定と増強結果の関係
(○=開催予定、×=開催の予定なし)

増強結果	○	×	未回答	計
部員減少	5	34	5	44
現状維持	7	51	10	68
部員増加	6	21	1	28
計	18	106	16	140

(主な意見等)

- 親会主催で開催している。
- 全会員を対象として開催した。
- 2年に1回開催予定(2年分の新規入会者を対象として開催するため)。
- 今年初めて会のガイダンスを開催したが反響があったので次年度以降検討する。
- ×開催したいが予算上難しい。

【租税教室や経済ゲームの開催について】

2014 年度の開催状況と増強結果の関係
(○=開催した、×=開催していない)

増強結果	○	×	未回答	計
部員減少	4	35	5	44
現状維持	5	53	10	68
部員増加	3	24	1	28
計	12	112	16	140

2015 年度の開催予定と増強結果の関係
(○=開催予定、×=開催の予定はない)

増強結果	○	×	未回答	計
部員減少	5	34	5	44
現状維持	9	49	10	68
部員増加	5	22	1	28
計	19	105	16	140

(主な意見等)

- 2014 年度小学生対象に4回開催。
- 女性部と共催で租税教室を開催予定。
- 地域のイベントで「税金クイズ」を開催。
- ×租税教室は親会が毎年主催している。青年部の規模では開催が困難。

×(時間・費用の面で)青年部では開催できない。

【一般向けセミナー等の開催について】

2014 年度の取り組み状況と増強結果の関係
(○=開催した、×=開催していない)

増強結果	○	×	未回答	計
部員減少	1	38	5	44
現状維持	3	55	10	68
部員増加	5	22	1	28
計	9	115	16	140

2015 年度の取り組み予定と増強結果の関係
(○=開催予定、×=開催の予定なし)

増強結果	○	×	未回答	計
部員減少	2	37	5	44
現状維持	4	54	10	68
部員増加	5	22	1	28
計	11	113	16	140

(主な意見等)

- 料理飲食組合等と税務研修会を開催している。
- 部員を講師にして業種セミナーを開催している。
- ×(時間・費用の面で)開催が困難。
- ×青年部単独では開催していない。

全項目について、2015 年度以降の青年部活動でも継続して取り組む、または取り組み始めるとした回答が、2014 年度の取り組み実績を上回った。

一方、全項目について、回収された調査票の 8 割(110 枚前後)で、2014 年度および 2015 年度の青年部活動で取り組まないとする回答が寄せられた。

全国的に部員が減少するなかで、部員が増加している会もある。部員数が「増加」したグループでは、「減少」または「現状維持」のグループと比較して「○」と回答した割合が高い。

部員数の減少にまだまだ歯止めがかかっていない。昨年度、全青色から紹介した事例に限らず、今までとは異なる活動に取り組んではどうか。総会の季節を迎える中、改めて事業計画を見直してほしい。事項では各地の青年部活動の一部を紹介している。

各活動の要旨は TEN-UP NEWS No. 81 参照

TEN-UP ACTION 2014 調査票にみえる各地の青年部活動

会員部員増強運動への取り組み内容

(主な取り組み内容)

青色申告会会員を対象とする活動

- 青年部主催の研修会等の開催。
- 対象年代（30～40歳代）への入部案内の郵送。
- レクリエーション行事を主催。
- （対象年代に関心が高い）スポーツ観戦などの企画を主催する。
- 新規入会者歓迎の会を、入会1～2年目の会員を対象として親会と共催。
- 自社PR懇親会の開催。事業内容や商品をPRする場を設け、販路拡大や販売促進につなげてもらう。

地域や会員以外の方を対象とする活動

- 地域のイベントに出展。
- 他団体との交流、結びつきを深め、入会入部につなげる。
- 例会を一般公開して開催している。部員の知人等も参加でき、理解を深めてもらっている。
- 青空マルシェ（会員および地域住民を対象とした青空市場）を開催
- 駅前での広報活動
- 大学や専門学校での学園祭に出展。
- 小学校での租税教室の開催。
- 区民祭りに参加（税金クイズブース開設）、年3回の納税キャンペーン（ビラ配り）に参加。
- 12月頃に税金セミナーまたは経営セミナーの開催。

確定申告期の活動

- 青年部員が交替で事務局に常駐し、対象年代に直接声掛けをおこなった。
- 税務署内に設置の青色コーナーで、入会勧奨とともに対象年代には入部勧奨も行った。
- 駐車場整理等を担当し、会の内外に存在をPRした。
- 青年部年代を対象として、青年部からのお知らせを広報誌と共に配布した。住所・氏名の提出いただいた方に、青年部

からの行事案内を送付した。行事の参加者を入部につなげる。

- 立て看板・懸垂幕・ラジオやCATVでの広報・プレート型看板の役員事業所への設置。
- 青色コーナー従事者向け研修会を実施。
- 青年部主催で申告期に「無料申告相談会」を開催している。

その他の青年部活動への取り組み

(主な取り組み内容)

- ブルーリターンA講習会の主催。
- 青年部員が指導相談活動に携われるよう青色コーナーの役割や簿記の基礎について講習会を実施。将来的にブルーリターンAやイータックスの講習に発展させていきたい。
- 新入会員については原則、ブルーリターンAによる記帳申告とイータックスの送信を指導している。
- 税を考える週間に「税の広場」でブルーリターンAの体験会を開催している。
- 青年部員の事業所の車輛42台に「おうちで作成 ネットで申告 e-Tax」「会員募集中」等記したマグネットステッカーを貼付して街を走行しPR。
- イータックスによる入力、送信で計算誤りの防止や所得税・消費税改正への対応、事務処理の簡略化等利便性を説明。
- 確定申告期の広報車による申告書の早期提出呼びかけとイータックスの普及推進活動。
- 青年部長が都議会、区議会へ固定資産税等の軽減措置について継続を陳情・請願。
- 事業承継税制について地元議員と協議、陳情を行う。

ブルーリターンAを利用したイータックス送信状況

会計ソフト「ブルーリターンA」の利用者数は9万人を超え、平成27年中に10万人到達が見込まれる。利用者の利便性向上のためにデータセンターを構築し、インターネット環境下で常に最新版が自動更新されるよう機能面が大幅に強化されている。

ブルーリターンAを利用したイータックスの送信状況では、平成26年分の送信人数は

52,670名(前年比10.5%増)、送信帳票数は、118,135件(前年比10.0%増)と昨年を上回った。

青年部活動として、イータックスの送信補助や、部員事業所の車両にPRステッカーを貼って広報活動に取り組んだ青年部もあった。ICTに長けた青年部世代は、指導相談業務にも積極的に取り組み、会活動を支援したい。

ブロック	都 道 県 名	ブルーリターンA普及本数			ブルーリターンAを利用したイータックス送信状況					
		13～25年	26年	27年	25年分		26年分			
					送信人数	送信人数	所得税計	決算書計	消費税計	帳票合計
東京	東 京	6,753	368	79	3,471	3,648	3,639	3,936	621	8,196
	神 奈 川	11,740	843	154	7,154	7,487	7,468	7,861	1,198	16,527
	千 葉	7,828	630	212	6,273	7,185	7,188	7,525	997	15,710
	山 梨	68	3	1	2	2	2	2	2	6
関東信越	埼 玉	3,691	251	72	705	723	725	790	153	1,668
	茨 城	2,399	124	43	1,260	1,310	1,309	1,518	392	3,219
	栃 木	620	48	5	161	252	252	241	62	555
	群 馬	758	32	15	53	59	59	66	17	142
	長 野	1,600	98	47	163	147	130	163	56	349
	新 潟	1,965	105	42	725	952	952	1,037	273	2,262
北海道	北 海 道	3,260	173	74	787	937	937	834	239	2,010
東北	宮 城	1,047	83	36	221	270	269	300	58	627
	岩 手	292	5	3	28	49	49	67	21	137
	福 島	1,777	91	45	103	130	131	165	53	349
	秋 田	374	31	3	164	110	109	112	19	240
	青 森	644	39	14	553	608	608	683	159	1,450
	山 形	1,178	87	20	623	852	847	824	247	1,918
東海	愛 知	4,212	280	136	1,210	1,263	1,268	1,400	315	2,983
	静 岡	4,115	351	176	5,771	7,103	7,110	6,131	1,697	14,938
	三 重	3,157	257	120	2,274	2,514	2,515	2,722	600	5,837
	岐 阜	2,530	184	77	931	1,033	1,034	1,186	309	2,529
北陸	石 川	1,019	64	41	270	255	254	284	88	626
	福 井	1,044	91	40	464	481	482	561	154	1,197
	富 山	1,161	61	13	314	398	398	423	137	958
中国	広 島	2,172	111	37	773	782	778	906	124	1,808
	山 口	1,522	122	64	759	773	773	846	164	1,783
	岡 山	2,083	181	49	799	903	901	980	211	2,092
	鳥 取	500	52	21	57	104	105	116	25	246
	島 根	1,175	67	23	275	278	278	322	98	698
四国	香 川	668	51	14	36	35	35	39	11	85
	愛 媛	3,134	360	86	2,287	2,599	2,599	2,840	722	6,161
	徳 島	555	53	6	762	96	96	104	36	236
	高 知	809	83	21	862	857	855	926	233	2,014
北部九州	福 岡	858	67	28	876	912	916	947	243	2,106
	佐 賀	375	29	2	513	493	493	557	126	1,176
	長 崎	646	40	19	7	6	6	8	2	16
南九州	熊 本	2,758	222	85	2,354	2,854	2,842	2,974	601	6,417
	大 分	1,019	96	25	197	323	311	361	69	741
	鹿 児 島	1,037	177	98	1,060	1,272	1,271	715	134	2,120
	宮 崎	1,142	155	69	662	771	769	793	185	1,747
	沖 縄	2,220	152	60	1,692	1,839	1,726	1,972	551	4,249
小 計		85,905	6,317	2,175	47,651	52,665	52,489	54,237	11,402	118,128
その他(大阪)		1,471	0	0	5	5	5	2	0	7
合 計		87,376	6,317	2,175	47,656	52,670	52,494	54,239	11,402	118,135

青年部レポート 鹿児島県 一般社団法人鹿児島青色申告会青年部

事務局 鹿児島県鹿児島市名山町 9-1 県産業会館 3 階 TEL : 099-223-1411 FAX : 099-227-0227 Mail : kagoshima@cb.wakwak.com	
発 足	平成 9 年 5 月
予 算	15 万円 (内: 親会補助 15 万円)
部員数	26 名 (平成 27 年 4 月 1 日現在) (内: 不動産 2 名、建設 1 名、卸売・小売 3 名、サービス 20 名)

《現役員》

部 長	田中 藤雄	(駐車場業)
副部長	柳田 政雄	(不動産賃貸業)
運営専務	本田 洋	(獣医業)



(H26.10. 2 青色コーナー事前研修会)

《地元概況》

鹿児島県の中央に位置し、活火山の桜島が隣接する鹿児島市は、年間の平均気温が 18.9℃と年間を通じて暮らしやすい温暖な気候で人口は約 60 万人にのびります。

《青色コーナーでの青年部活動》

青年部では平成 26 年 2 月より (平成 25 年分の申告期から)、部員が青色コーナーに相談員として従事しています。白色申告者の記帳義務の拡大にともない、親会では署との緊密な連携のもと新規青色申請者の増加に向けて取り組み始めました。申告期に青色コーナーの相談員が不足することが予想されたため、青年部として例年参加しています。

青年部では事前の準備として、部員を対象に 4 回の研修会を開催し、確定申告期に臨んでいます。「青色申告の特典」「申請書類の書き方」など、事務局のノウハウにもとづいた想定質問集を用いて研修を行います。

す。また、相談マニュアル等の参考資料も青色コーナーに配備しています。

青色コーナーでは、事務局、税理士とともに、親会・女性部・青年部がシフトを組み対応しています。受付員が相談者から相談内容を確認し、相談内容に応じた適切な相談員へと誘導しています。

青色コーナーを通じて入会された方には、記帳説明会やブルーリターン A 講習会の開催をお知らせし、会活動への理解を深めてもらうと共に、対象世代への入部勧奨を実施しています。

月	活動 (内容)
6 月	青年部総会
8 月	第 1 回 青色コーナー研修: 青と白の違い、青色申告の説明ができるように
11 月	おはら祭り、第 2 回 青色コーナー研修: 白色申告の説明
12 月	第 3 回 青色コーナー研修: 青色決算書の見方
1 月	第 4 回 青色コーナー研修: 所得税・消費税の申告書・添付書類の説明
2 月	青色コーナー従事
3 月	ブルーリターン A 講習会

(鹿児島会青年部年間活動スケジュール)



(H27. 3. 23 ブルーリターン A 講習会)

《その他の活動と今後の課題》

部員の FP(ファイナンシャル・プランナー)を講師に迎え、研修会を行いました。今後も継続して「専門家」の部員による講習会を開催できればと思っています。現状、親会・女性部・青年部共同の活動が多いため、青年部独自の活動を模索中です。

Key Word

モバイルフレンドリー

モバイルフレンドリーとはインターネットの検索対象のサイトがモバイル向けに設計されているかどうかのアルゴリズム。検索サイト最大手の google で本年4月末以降に採用されている。google では、スマートフォン等（モバイル）での検索結果の表示順位を、モバイルでの表示に対応していないサイトを下げ、対応しているサイトの表示順位を上げている。

近年モバイルでの検索が増えていることから、モバイル上で見難いサイトばかりが検索結果に表示された場合に、利用者が検索エンジンから離れてしまうことが考えられ、検索サイトの広告収入に影響を与える。なお、モバイルフレンドリーはモバイルでの検索についてだけ影響を与え、PCからの検索結果には影響を与えない。

CGM(Consumer Generated Media)

個人による情報発信をデータベース化、メディア化したウェブサイトまたはその構築手法や考え方を指す。「Wikipedia」のように一つの項目を無数の参加者が作成するウェブサイトとは異なり、無数の参加者が各々に作成した項目を集めて構築されるウェブサイト（またはその構築手法）。ロコミサイト、SNS、ナレッジコミュニティなどが代表例。

従来、消費者は企業から提供される商品やサービスを購入するだけの存在であったが、SNSなどの台頭により消費者によるサービスの提供が可能となってきた。ロコミを判断材料に利用したいと考える消費者が増えたこともあり、これらのサイトからは大ヒット商品がしばしば生まれている。

Opinion & Announcement

昨年度、全青色青年部では全国の新しい青年部活動への取り組みを紹介してきた。常に新しい活動を模索し、行動に移し検証する姿は、あるべき経営者像ではないだろうか。2015年度も引き続き、青年部の運営に、事業を営む者の感覚を反映させてほしい。青年部は、青色申告会の次世代を担うリーダーの育成所であるとともに、部員にとっては、組織の運営を訓練する場として機能してほしい。

青年部の運営は各地で事情が異なり、全国一様に展開するには困難が伴う。今号で取り上げた各地の青年部活動の一部を採用してはどうだろうか。組織に新しい活動を持ち込むのは青年部員であってほしい。



キーワードで取り上げた「モバイルフレンドリー」の影響は既に出ているだろうか。各会のホームページの編集やメンテナンスを青年部員が担当しているという話を聞くこともある。会員の高齢化と青年部世代の入会の少なさは、会活動の停滞につな

がりかねない。青色申告会の意義と役割を再考し、青年部世代に合った方法で訴えかけなければ、青年部世代の入会・入部への道のりは遠いのではないだろうか。「CGM」で構築するとまでは言わなくても、ホームページ等をはじめとする今日的なツールを使い、会員・部員の増加という結果に結び付け、青年部の存在感をより一層高めてほしい。



青年部のホームページ「青色申告会青年部について」が公開されました。右下のQRコードを読み込んで、TOPページの「新着情報」から確認して下さい。

ページ内の写真等の素材について、通年で募集しています。全国の青年部へ紹介したい活動を是非お知らせください。

